

有識者会議での主な意見と姫川水系河川整備計画(原案)への対応について

分類	有識者会議	指摘事項	対応(案)	対応箇所
姫川流域等の概要(歴史・文化)	第1回	代表的な文化財として取り上げるのなら、姫川と関わりがあるものとして、長者ヶ原遺跡などが適当であると思う。	歴史・文化のページに長者ヶ原遺跡を追加しました。	河川整備計画原案P10
姫川流域等の概要(産業)	第1回	17ページの主な工場等のNo.1と2は姫川港のサイロである。	厳密に言えば工場ではありませんが、電化及び太平洋セメント(株)のセメントサイロは工場に関連する施設として原案に掲載しています。	河川整備計画原案P16
姫川の現状と課題(急流河川対策の状況)	第2回	「越水なき破堤」が資料の中に記載されているが、その機構メカニズムを説明するのであれば、実際に現象が起きた上川地先で検討するべきではないか。	平成7年7月洪水で姫川の上川地先で発生した現象として、その原因とともに原案に記載しました。なお、「越水なき破堤」という文言は「侵食による堤防決壊」としております。	河川整備計画原案P26
	第2回	資料-2の17ページにおいて、みお筋や河床の変化にもいろいろな現象があり、これらの現象は出水のスケールにより話が異なってくることから、説明や認識においては混同しないよう注意しなければならない。	原案にはみお筋の変遷を整理し、洪水流量との関係を図化して、説明するようにしています。	河川整備計画原案P27-28
姫川の現状と課題	第3回	堤防の中身の調査も必要ではないか。	原案には、地震に対する安全性への記載で地質調査等を行い情報収集に努める必要がある事を課題として掲載しています。	河川整備計画原案P33、60
流域の総合的な土砂管理	第1回	大規模な出水時には土砂流出が多いが、それ以外の出水では大して流出はしてなく、河床が低下している。いつも土砂が流出しているようなイメージを与える表現はあまり適当ではないかと思う。	原案では、表現を訂正し、大規模出水時には土砂移動が盛んと表現し、それ以外の洪水時には土砂の流出量は大きく無い事を踏まえ、維持の観点から総合土砂管理に取り組んで、全体を把握する必要があると掲載しています。	河川整備計画原案P34
姫川の現状と課題(河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項)	第1回	水の利用について、どこから取水して、どこへ戻しているのか、というような資料が必要ではないのか。	原案では、姫川水系での水利用を解りやすくするために姫川水系の水利用模式図を掲載しています。	河川整備計画原案P38-39
姫川の現状と課題(河川環境の整備と保全に関する事項)	第1回	絶滅危惧種などはいるのか。	姫川で行った調査で、ミヤマシジミ(環境省レッドリスト:絶滅危惧Ⅱ類)など存在を確認しているため、原案に掲載しています。	河川整備計画原案P42-43
河川整備計画の目標に関する事項	第2回	基本理念について「越水なき破堤」という表現は姫川の特徴を表すものではないと思う。また、「急流荒廃河川」というのもイメージがわかりづらい。	ご意見を踏まえ変更しています。	河川整備計画原案P54
	第2回	観光的な立場で言うと、糸魚川や姫川の名前はロマンチックに聞こえると言われていて、「暴れ川」という捉え方も結構だが、もう少しロマンチックな言葉を入れて考えてほしい。	ご意見を踏まえ変更しています。	河川整備計画原案P54
	第3回	「姫川の貴重な自然・歴史を活かしつつ、災害を教訓とした安全で安心できる川づくりをめざします。」として協議します。	ご意見を踏まえ変更しています。	河川整備計画原案P54
河川整備の実施に関する事項(洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項)	第2回	出水があった場合は、ヘリコプターで写真撮影し、水当たりの状況を確認するのがよいと思う。	河道の変動を捉える為の調査について定期的な測量、洪水中の調査等を行う事を原案に反映しています。	河川整備計画原案P65-67
流域の総合的な土砂管理	第3回	モニタリングや堤防の調査に関する事を具体的に整備計画に入れることはできるのか。	河道内の面的な測量、出洪水時のモニタリングの内容等を原案に反映しています。	河川整備計画原案P65-68
河川整備の実施に関する事項(洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項)	第3回	巡視の状況等の水防活動に関する記載はどうなっているのか。	水防活動への協力・支援の内容について原案に反映しています。	河川整備計画原案P72
河川整備の実施に関する事項(河川環境の整備と保全に関する事項)	第2回	サケはどこまで遡上するのか。	過去調査を行いました、サケのテレメリー調査の内容・結果について原案に反映しています。また、今後の工事の際にも環境調査に基づいて保全措置について実施する事を原案に記載しています。	河川整備計画原案P78
	第2回	ジオパークに力を入れている。姫川と組み合わせる。	原案にジオパークと連携した川まちづくりについて記載しています。	河川整備計画原案P79-80
流域の総合的な土砂管理	第3回	総合土砂管理については、流砂系一貫の視点でデータを共有することが重要である。また、情報共有の仕組みについても記述すべきである。	砂防・海岸等の関係機関とモニタリングの情報共有を図る事について原案に反映しています。	河川整備計画原案P82-83